



NIES適応型共同研究（暑熱） 成果報告

栃木県気候変動適応センター



とちぎ
カーボンニュートラル
15アクション



令和 6 (2024)年度事業の実施結果について

- (1) 大学との連携による効果的な普及啓発方法の検討
- (2) 気候変動適応法改正に伴う県の対応
- (3) その他の普及啓発

(1) 大学との連携による効果的な普及啓発方法の検討①



- 昨年度から引き続き、宇都宮大学の「地域プロジェクト」に地域パートナーとして参画している
- 今年度の課題は、「県民の行動変容促進のため、県民や事業者の声を集め、気候変動の危機を具体的に情報発信する方法の検討・提案」

1st Cycle

4～5月：事前学習

■ 気候変動による影響の学習

■ 取材テーマの検討

例) 熱中症
スケート場の氷不足

■ 県民・事業者の声の収集方法の検討

例) アンケート
ヒアリング

■ 情報発信の方法の検討

例) チラシ
HP・SNS

6～7月：実習



■ 県民・事業者等の声の収集

■ 結果の取りまとめ

〔 収集した声をどのように発信するのが効果的か、同時並行で検討 〕

2nd Cycle

8～10月：実習



■ 結果の分析・考察

■ 情報発信の内容の検討

■ 情報発信の提案

11～1月：実習・振り返り

■ 振り返り

本日の
発表内容

- ・ 結果の分析・考察のまとめ※
- ・ 情報発信の効果の予測
- ・ 今後の展望
(もっとやってみたいこと)
(改善したいと思ったこと)

前半は、具体的な実施内容を検討

後半で実際に活動

※1/14にポスターセッション実施

(1) 大学との連携による効果的な普及啓発方法の検討②



- 学生のアイデアにより、「県民が日頃感じている気候変動の影響」についてイベントや観光地で聞き取り調査を実施
- 調査に当たっては日傘のレンタルを同時に行い、熱中症対策の普及啓発を併行して実施

学生による調査結果のまとめ及び情報発信の提案

① 聞き取り調査の概要

場所と時期	①2024うつのみや花火大会(宇都宮市) ②日光東照宮周辺・日光駅周辺(日光市) ※8～9月に実施
回答数	①10名 ②49名
設問	職業、日頃感じている気候変動の影響、 実際に行っている熱中症対策 等

② 収集した県民の声

多くが「暑さ」による影響を訴える声であった。以下は一部抜粋。

場面	声の内容
日常生活	・冷房を長く稼働しているため電気代が高い ・外出が億劫
仕事	・園児を外で遊ばせられない(保育園) ・外で体育ができない(学校) ・外の作業が大変(工事現場) ・病室の温度管理が大変(病院)

③ まとめと提案

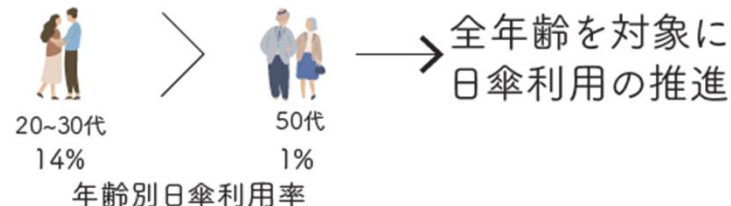
「暑さ」による影響を感じている県民の声が多数収集されたことを踏まえて、効果的な熱中症対策として日傘利用の普及啓発が提案された。

大学生の発表資料の一部

提案1 熱中症対策：日傘利用の推進

日傘の効果

日除けによる体感温度低下効果は約6.5℃であり、体感温度低下効果が最も高い対策が日除けである。⁷⁾ 20代と30代の若い世代で最も所有率が高く、各14%が日傘を持っている結果となった一方、50代の所有率はわずか1%と大きく落ち込んだ。⁸⁾



(2) 気候変動適応法改正に伴う県の対応



- 住民が利用しやすい民間施設にクーリングシェルター設置について協力を依頼
- クーリングシェルターとして指定可能な県有施設を集約し、市町に情報提供

⇒市町のクーリングシェルター指定を支援

① 民間施設への協力依頼

- ・ 県が民間施設を訪問し、制度内容を説明した上、協力を依頼
例：スーパーマーケット、家電量販店、ドラッグストア
- ・ 協力可能な民間企業について、市町に情報提供

〔その他の動き〕

- ・ 市町から企業への働きかけ ⇒ 地元スーパーマーケット、郵便局、調剤薬局などに拡大
- ・ 企業から市町への働きかけ ⇒ 車販売店などに拡大

◆ 民間施設 218か所指定 (R6.12.31 時点)



▲クーリングシェルターとして指定された民間施設の一例

② 県有施設のクーリングシェルターとしての指定

- ・ クーリングシェルターとして指定可能な県有施設(※)を集約し、市町に情報提供
※ 地方合同庁舎等
- ・ 現在、クーリングシェルターの指定に関する協定の締結を調整中

◆ 次年度の熱中症警戒アラート運用期間にはクーリングシェルターとして稼働予定



▲クーリングシェルターとして指定予定の県有施設の一例

(3) その他の普及啓発

- X(旧Twitter)アカウントで熱中症対策に役立つ情報を積極的に発信
- 栃木県気候変動適応センター通信(※1)で熱中症対策情報をピックアップ
- 民生委員を活用し、高齢者に対して熱中症対策リーフレット(※2)を配布

※1 気候変動による影響や適応策に関する情報を発信。不定期に発行。


※2 熱中症のリスクや予防策等に関する情報を掲載。

Xのポスト（一例）

【8/24】(土) #栃木県内に #熱中症警戒アラート 発表

暑さ指数（WBGT）が高まり熱中症の危険性が高い状況
特に、本日 **#熱中症** の危険性が高い状況が予想されま

▲熱中症警戒アラートの発表を周知

9/17気象庁が発表  早期天候情報 (jma.go.jp)

💡 関東甲信地方は、9/23からかなりの高温に！

熱中症になりやすい状態が続きます！

秋も油断禁物！

引き続き

▼熱中症対策を！！

☑️エアコン利用

✓水分補給

☑ 日陰の確保

▲気象庁の早期天候情報をお知らせ

栃木県気候変動適応センター通信（一例）



熱中症対策リーフレット



▲熱中症搬送者数（時期別、年齢層別、場所別）、暑さ指数が高くなる時間帯、予防につながる行動 等



栃木県気候変動適応センター
X (旧Twitter) をチェック！

